



子どもの「幸せ実感」とは？

教 頭 ○ ○ ○ ○

親子の「幸せ実感」はお互いに影響し合う

私たち大人は、どの子どもにも「幸せ」を感じながら日々の生活を過ごしてほしいと願っています。自分のお子さんならなおのこと幸せになってほしいと強く願うことは当たり前のことです。

東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所が行った約2万組の親子を経年調査したところ、親子の「幸せ実感」は、保護者と子どもが互いに影響し合うことが明らかになりました。保護者とその子どもに、自分が幸せかどうかをたずねたところ、現在「とても幸せ」と回答した保護者の子どもの46.6%が、同じく「とても幸せ」と回答しました。一方で、「幸せではない」と回答した保護者の子どもが「とても幸せ」と回答した比率は17.6%にとどまっています。

また、同じ親子の「幸せ実感」について、6年間の経年変化を追ったところ、保護者の今の「幸せ実感」がその後の子どもの「幸せ実感」に、子どもの今の「幸せ実感」がその後の保護者の「幸せ実感」に影響することがわかりました。

このように、親子の幸せは相互に影響し合い、循環する関係にあり、それは、「今」だけでなく「未来」の幸せにもつながるということです。つまり、「今」はもちろんですが、この先「未来」も子どもが幸せだと感じるためには、保護者自身が幸せを実感していることが重要であるといえます。

お金や成績よりも、

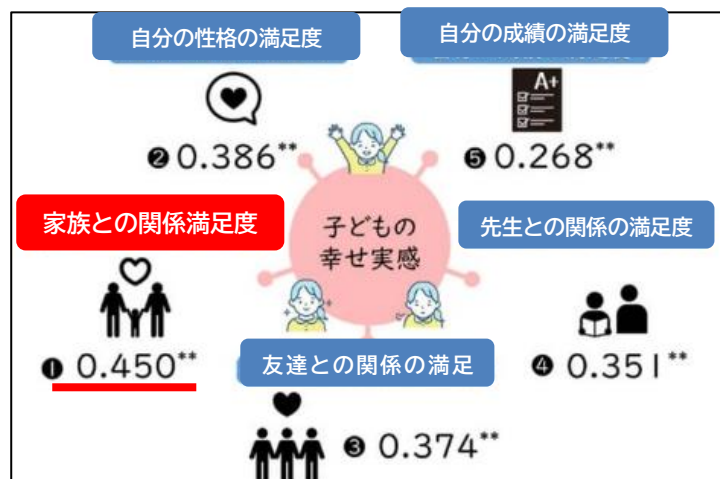
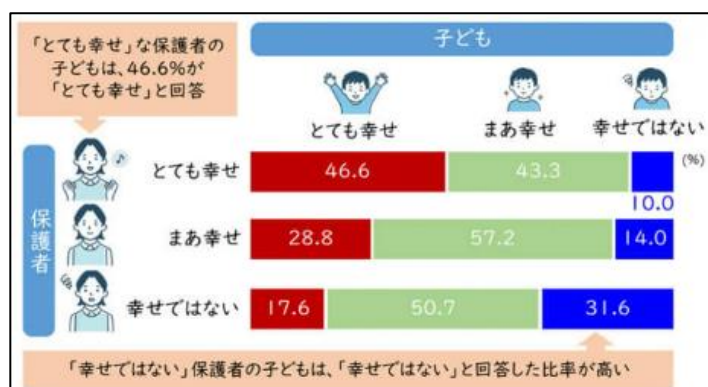
子どもの幸せと関連するものとは？

右の図の数字は、数字が大きい項目ほど子どもの幸せ実感との関連が強いことを示しています。自分の成績のように他者と比べることができるものより、「自分の性格や、家族・友達・先生などとの人間関係における満足度」のほうが、幸せ実感と関連が強いことがわかります。特に「家族との関係の満足度」は、最も強い関連が見られます。

また、お金と子どもの幸せ実感との関連を探るために、世帯年収別に子どもの幸せ実感を見たところ、年収による差はそれほど大きなものではないことがわかりました。金銭的に豊かでなければ幸せを実感できないというものではないようです。

みなさんは、「かわさき子ども権利条例」をご存じでしょうか。川崎市が作っている条例の啓蒙パンフレットにある、「子どもから大人へのメッセージ」がとても好きなので、ご紹介します。

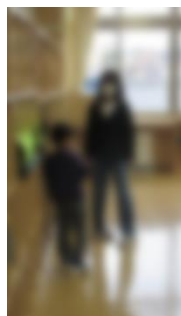
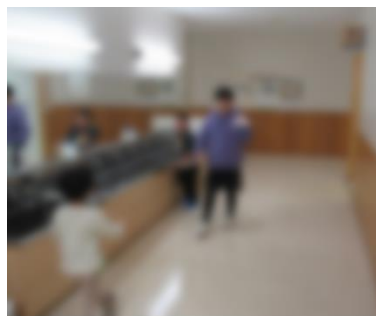
まず、おとなが幸せにいてください。おとなが幸せじゃないのに子どもだけ幸せにはなれません。おとなが幸せでないと、子どもに虐待や体罰とかが起きます。条例に「子どもは愛情と理解をもって育まれる」とありますが、まず、学校や家庭、地域の中で、おとなが幸せでいてほしいのです。子どもはそういう中で、安心して生きることができます。



6年生 1年生のお世話係として大活躍！

最上級生となった6年生。ピッカピカの1年生のお世話係として、朝の会が始まるまでの間活動しています。最初は何をすればいいのか戸惑っていた6年生ですが、名札をつけたり、ランドセルの置き方を教えたりトイレに連れて行ったりなど、自分たちでやることを探して活動している人もいます。

今6年生のみなさんがやっていることは、1年生が6年生になったときにやることになるはずです。よいお手本になれるよう、頑張っていました。



1年生 下校指導 ～ 通学路を再確認！ ～

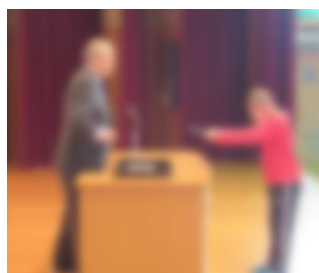
4月8日（火）から14日（月）まで、1年生の下校指導を実施しました。下校コースごとに家までの帰り道を確認しました。車の通りの多い所や歩道を確認しながら帰りました。遠い道のりで雨が降っていても、しっかりと前を向いて黙々と歩いて帰る姿が印象的でした。

安全に気を付けて毎日学校に通えるよう、ご家庭での声かけもよろしくお願いいたします。



委員会認証式 ～ 自分たちの学校は自分たちで ～

4月28日（月）に委員会認証式がありました。6年生が先頭に立って活動を進めていきます。それを支えていくのが4・5年生のみなさんです。自分たちの学校を、さらによくしていくためにできる活動は何なのだろうか。委員のみなさんの頑張りに期待しています。



各学級の時間割 QRコードから確認できます！

今年度より、時間割をWEB上で確認できるように設定しました。QRコードから各学級の時間割を掲載していますので、ご活用ください。あおぞら学級は、クロームブックの活用と紙で配布します。

また、「年間行事予定」「よくわかる八雲小」はホームページと「八雲小学校時間割」サイトにも掲載しています。

こちらです →



5月行事予定

紙面の都合上、QRコードでご覧ください。

